

<第9回「ゆいごん川柳」受賞作品一覧>

大賞

遺言を 書いたつもりが 感謝状 (犬さん/50代/埼玉県)

【講評】 遺言を伝えようと思ったのに、いつしか“感謝状”になっていたというハートに沁みる一句。書いた人のお人柄をしみじみ味わいたい作品です。もらった家族にとって、きっと生涯の「宝もの」になる遺言ですね。 (歌人 田中 章義)

入賞

ゆいごんは 残る家族の 羅針盤 (しーしー/50代/千葉県)

【講評】 一読ただけで印象的な、胸に残る作品でした。もらった家族にとって、これからの生きる指針となるような「羅針盤」。こんな遺言を、ぜひ残してみたいと心から思わせてくれる一句でした。お見事な作品だと思います。 (歌人 田中 章義)

献体と 遺贈わたしも 二刀流 (ぼたん/40代/北海道)

【講評】 「二刀流」がイイですね。スゴイとしか言いようのない大谷選手の活躍で、「二刀流」という単語がすっかり定着いたしました。その「二刀流」を、作者は「献体」と「遺贈」に活かそうというのです。「わたしも」の「も」という助詞の使い方もまたよし。共感がさらに広がりそうです。 (全日本川柳協会 江畑 哲男)

筆圧に 確かに籠る 父の愛 (もりそう/30代/香川県)

【講評】 筆圧を感じられるのは自筆で書く遺言書ならではの長所ですね。書いているさまが目に見え、父親からの無言の愛情をより深く感じることができるでしょう。きっと、もりそうさんの実体験がこの名作を生んだのではないのでしょうか。 (相続遺言専門行政書士 佐山 和弘)

佳作

お金より 相続したい 母の味 (みらいくん/70代/佐賀県)

財産は お前たちだと 子を泣かせ (阿波天坊/70代/徳島県)

遺言は マイナカードに 紐付ける (おかん/60代/兵庫県)

どや顔で 遺影が笑う 遺言書 (かぎかつこ/50代/和歌山県)

遺贈して 独り舞台に 幕を引く (ハーラーダビ/40代/東京都)

運転を やめたら次は 遺言書 (猫背/60代/千葉県)

日本財団遺贈寄付サポートセンター賞

ユイゴンって どんな怪獣？ 孫が聞く (もふもふ/60代/千葉県)

め切が あれば書きます 遺言書 (ハルル/70代/東京都)

遺言で 初めて知った 深い愛 (わさもん/70代/熊本県)

遺言書 返事不要の ラブレター (風来坊/70代/宮城県)

三井住友信託銀行賞

人生を 終えて始まる 第二章 (まーちゃん/70代/石川県)

【講評】 人生の終わりは悲観するものではなく、遺贈寄付によって新たな希望がもたらされるのではないのでしょうか。充実した生涯とともに未来に託す強い思いを感じた作品です。 (三井住友信託銀行 本店法人業務第一部長 濱 貴人)

三菱UFJ信託銀行賞

遺言に 父の取り説 母の愛 (こうちゃんママ/40代/福岡県)

【講評】 この奥様はご主人の機嫌をコントロールするスイッチを、いっぱいご存じなのでしょう。長年に亘り寄り添われた姿が、目に浮かびます。ご主人・ご家族、みなさんの不安を軽減できる遺言はいいなと、改めて感じました。 (三菱UFJ信託銀行 本店法人営業部長 鈴木 秀和)

三井住友銀行賞

遺言状 書けば長生き したくなり (貧乏徳利/50代/愛知県)

【講評】 遺言状を書かれていて、ご家族との楽しい思い出や心残りとなっている事が思い出され、もっと多くの時間をご家族と過ごしたいという想いが強くなられたのでしょうか。心が温かくなる、素晴らしい一句でした。 (三井住友銀行 公務法人営業第一部長 林 孝敏)